

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	悪くなっている	天候の不純などの理由もあり、スーパーマーケットの売り上げは相変わらず厳しい状態が続いている。今回の災害が多くの面にてマイナスの影響を起しているようにみうけられる。ただし企業の設備投資また公共事業投資などは底上げに貢献しているが大きな動きにはまだなっていない。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	中国経済の失速、アベノミックスに対する失望感、加えて、消費税を上げることに對する消費志向の低下など。また海外においては、ウクライナ情勢、イスラエル、東南アジアといった地政学的リスクが結果的に円為替の高騰を招くことが大きな懸念。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	規制緩和をより大胆に早急に実行し、具体的な成功例を広く宣伝することによって経済界の期待感を高めることが必要。また、生産性の向上は単に製造現場の話というより、むしろホワイトカラー層の生産性を上げる必要がある。その為には成果とかけた時間の両方を加味して時間が少なく成果が大きい人を評価するといった評価システムを導入するべきである。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	Yes	設備投資に関してはいろいろところで出しているINDEXを見る限り拡大しているといえる。企業収益は円安の傾向が貢献しており、それを除いた実質成長に関してはそれぞれの企業の内容が正確に入手できないので未だ明確には把握できない。個人的に係っている精密、化学素子などにおいては、ほとんどの上昇要因は円安によるものが多く実質成長としてみる限りは未だ明確なプラス成長は認識できていない。

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	賃金上昇雇用拡大に関しては、業種において良い処と悪いところの差が出てきており、これからもう少し状況を見てゆく必要があると思います。雇用に関しては特に建設業は需要が大きく伸びていることもあり人手不足の状態と聞いている。しかし消費税のアップに伴い、それに見合う分の賃金アップは難しく結果的には実質的にはダウンしている状態と理解している。
	③個人消費の拡大	No	消費税のアップに伴い賃金上昇の効果が薄くなっているため、また今後の消費税のさらなるアップといった危惧感から個人消費は思ったほど伸びてはいない。その為に特に生活消費材に関しては拡大がみられない。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	No	<p>掛け声だけで、実質の効果はまだ十分には診られない。特に生産性向上に向けては抜本的な改革が必要ではあるがいまだそれに対しての具体的な施策が見えず、足踏み状態であると感じている。此の経済の変化の激しい時に、またインオベーションを積極的に進める必要がある時に、相変わらずの生産性の低い働く環境は、命取りになると危惧している。過去の慣習、規制、権益などにとらわれたビジネス環境、働く環境はこの機会に徹底的に改革をする必要があり、思考ノミターンを変えていく必要がある。</p>
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	—	<p>第3の矢の規制緩和に関してはいつも言われながら実行できずここまで来ている状態である。今回徹底的に行う事は国民の期待感を大きく高揚し新しいビジネスの喚起に貢献する要素である。特に農業、医療に関する規制緩和、公的法人の整理、また巨大なる財政赤字の中でのばらまき財政をもう一度見直すことが極めて大事である。省庁の垣根を越えて新しい発想での役割分担を行い、より効率的な行政と、地方での活性化は思いつ切って道州制などを実行する必要があるのではないだろうか。</p>